

袋井市立袋井西小学校

学校だより

西小だより

新春号

全ての子が「学校へ行くのが楽しい」と 答える学校を目指します

校長 柴田 禎弘

新年明けましておめでとうございます。令和2年もよろしく申し上げます。

さて、3学期始業式では、新しい年の目標を立てましようと話しました。令和2年の校長としての目標は、「西小の全ての児童が『学校へ行くのが楽しい』と答えてくれる学校を作ること」です。

12月に全校児童アンケートを採りました。「学校へ行くのは楽しいですか?」という質問に、「楽しい」「どちらかと言えば楽しい」「どちらかと言えば楽しくない」「楽しくない」の4つから答えてもらいました。49.8%の児童が「楽しい」と答えてくれましたが、どちらかと言えば楽しいけれど、自信を持って楽しいとは言えないなという児童が約三分の一、中には「楽しくない」という児童もいました。小学校としては、満足できる結果ではありません。西小に通う全ての児童が、「学校へ行くのは楽しい」と答えてくれるような学校を目指します。

確かに、学校は、勉強や運動など、やらなくてはいけないことがたくさんあります。また、集団で生活しますから、ルールやマナーも守らなくてはなりません。自分の好きなように生活できるわけではありません。しかし、教師や他の児童と一緒に取組むことで、初めてやり遂げることができることがたくさんあります。そして、自分たちの力でやり遂げた実感は、生きる自信につながります。何より、うれしい、楽しい経験です。学校での学びは、大変だからこそ、そこに楽しさや喜びが生まれるのだと思います。「学校が楽しい」という楽しさの質も考えていきたいと思えます。

教職員も努力しますが、子供たちにも、自分たちの手でもっともっと楽しく思えるような西小学校にするために自分から行動しようと呼び掛けました。まず、具体的には、明るい声であいさつを交わすことから始めようと提案しました。明るい声であいさつされるだけで、人は楽しい気分になるものです。みんなが明るい声でのあいさつを意識すれば、それだけで楽しい学校に一步近づきます。

見直してみると、あいさつ一つでも、自分たちの手で楽しい学校にするための大きな手段になると気付けます。日常の一つ一つの行動に意味を見出し、より主体的に行動する子供になってほしいと思っています。



<3学期始業式 児童代表頑張ることの発表>